

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.07.02-07.13

記事の詳細は、情報検索サービス『キジシク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版



7月2日(月)

中国で風力発電用大型軸受
日本精工 / 大型装置にも供給

日本精工は、中国で風力発電用大型軸受の生産を2013年に始める。中国では風力発電装置の製造ラッシュ。円高リスクを低減する。主流の1000^{kg}、2000^{kg}や5000^{kg}以上の大型にも供給。(1面)

太陽電池パネル、現場に直送
サンテック / シェア20%目指す

太陽電池パネル世界最大手・中国サンテックの日本法人は、産業用の日本での物流体制を整えた。中国の工場から倉庫を経由せずに設置場所に直送。工期を短縮。日本でシェア20%を目指す。(1面)

大阪ガス、化学事業で中国進出
シリコン溶融炉向け / 成形断熱材

大阪ガスは、化学事業で中国市場に進出する。現地法人を設立する。化学事業で海外営業拠点を置くのは初めて。シリコン溶融炉に使う成形断熱材を中心に事業展開する。(10面)

7月3日(火)

東洋ゴム、中国・マレーシア生産
低燃費タイヤ / 世界120万本

東洋ゴム工業は、低燃費タイヤ「ナノエナジー」シリーズの生産をマレーシアと中国の新工場でも2015年までに始める。国内で50万本、海外で70万本の合計約120万本を狙う。(1面)

医療機器用電源装置を販売
オリジン電気 / X線発生システム

オリジン電気は、中国で医療機器用電



X線照射口内蔵の医療用電源装置(オリジン電気)

上海で開催された「中国上海国際ロボット展」では、日系やローカルなど約60社が出展した



源装置を販売する。現地向けにX線管球を高電圧発生部と一体化した多方向からの撮影が可能なCアーム外科医療用X線発生システムを製品化。(13面)

産ロバ - 中国で覇権争い
機能絞りで低価格機投入

中国で日系産業用ロボットメーカーの販売競争が激化している。自動車向けなどを中心に需要が急増。一方、ロボット各社は機能を絞って低価格化した戦略機を相次ぎ投入。(深層断面=24面)

7月4日(水)

歯車加工用ギアシェーバー生産
三菱重工

三菱重工業は、常熟市の工作機械工場で、歯車加工用のギアシェーバーの生産を2013年をめどに始める。ギアシェーバーはホブ盤では加工できない段付きの歯車を加工できる。(6面)

山善、無錫の営業拠点を強化
工作機械の扱い開始

山善は、無錫市の営業拠点の機能を年内をめどに強化する。現在販売している工具類に加え、工作機械などの機械類の取り扱いを始める。現地は自動車、IT、新エネなど日系顧客が進出。(6面)

7月5日(木)

上海に部品調達センター
東芝メディカル / 海外75%

東芝メディカルシステムズは、海外部品調達を拡大するため、月内にも上海市

に部品調達センターを開設する。CTなどの海外生産が進む。海外調達を2014年度に75%に高める。(11面)

7月6日(金)

中国で大型機の不振続く
工作機械 / 小型機は堅調

工作機械メーカーの中国での受注がまだら模様だ。大型機が伸び悩む一方、スマートフォンのなどのIT関連向け小型機は堅調に推移しており、自動車向けも伸びを見込める。(2面)

3次元CAD、中国で育成
キャリアオ技研 / 日系に派遣

キャリアオ技研は、中国で3次元CADの技術者育成などを行う新会社を設立する。浙江省の人材派遣会社と提携し、中国に進出する日系自動車関連メーカーに派遣する技術者を教育する。(23面)

7月10日(火)

セントラル硝子、合併を解消
リチウム電池用高濃度溶液

セントラル硝子は、リチウムイオン電池用六フッ化リン酸リチウム(LiPF₆)高濃度溶液を生産するため結んだ中国の山東石大勝華化工集団股份有限公司との合併契約を解消した。(3面)

7月11日(水)

安川電機、広州に新拠点
産ロバレンタル

安川電機は、上海で取り組んでいる産

業用ロボットレンタル事業を拡大するため、12月にも広州市に新たな販売サービス拠点を開設する。オリックス・レンテックとの共同事業。(6面)

小林製薬、中国に進出
「アンメルツ」現地生産 / 提携・買収

小林製薬は、中国の医薬品事業に2015年度をめどに進出する。現地に医薬品の販売網や製造拠点を持つ企業との提携、買収により塗るタイプの肩こり薬「アンメルツ」シリーズを現地生産。(11面)

7月12日(木)

中小物流の中国進出に手引書
国交省 / 課題・留意点

国土交通省は、中小物流事業者の中国進出を促すため課題や留意点を整理した手引書を2012年度内に作成する。物流の進出は大手にとどまり、一部の中小事業者が沿海部で展開している。(1面)

東芝ライテック、昆山など集約
国内4工場閉鎖

東芝ライテックは、照明関連製品の製造を手がける国内グループ工場のうち4工場を閉鎖する。中国の生産拠点「哈利盛(ハリソン)東芝照明(昆山)」と鹿沼工場に製造を集約する。(8面)

暗号化通信ソフト、中国が認可
日立システムズ / 事前申請不要に

日立システムズは、中国と日本の間で暗号化されたデータ通信をするソフトウェアが中国政府の認可を取得した。日本製の暗号化通信ソフトを中国で使用する際の事前申請が不要になる。(9面)

7月13日(金)

岐路に経つ中国経済
GDP成長8%割れ / 財政出動も

中国の4 6月期GDP成長率が8%を割り込みそうだ。経済が失速すれば、大量の失業者を出し不満が高まる。財政出動も有力な選択だ。中国経済は岐路に立たされている。(深層断面=32面)

DHL、中国事業を加速
上海空港に「ハブ」 / 400億円投資

DHLが、中国で事業展開を加速している。上海浦東国際空港に、DHLの施設ではアジア最大の積み替え拠点となる「北アジアハブ」を開設。2 3年で中国に4億(約400億円)投資。(17面)

ベトナム進出、計画から支援
ベトナムチャレンジャーコーポなど

ベトナムチャレンジャーコーポレーションと三井経営研究所は、ベトナム進出を目指す中小企業に進出計画策定から進出後の販路開拓まで総合的に支援する事業を始めた。(22面)

7月12日(木)

アジア供給能力、年1200万個
点火コイル / ダイヤモンド電機

ダイヤモンド電機は、自動車エンジン用点火コイルのアジア(日本を除く)での供給能力を年1200万個以上に2015年をめどに高める。中国とインドの工場を増強。タイに新設する。(5面)

7月13日(金)

東芝、火力発電研究で新棟
インド・欧米で需要拡大

東芝は、火力発電に関するエンジンアリング事業の中核拠点を2014年1月をめどに横浜市内に新設する。インド、米国、欧州で火力需要が拡大。高品質なエンジンアリングを提供する。(1面)

タイ治水プロ、受注を支援
国交省 / 対策の概念設計情報

国土交通省はタイ政府によるチャオプラヤ川などの25河川を対象にした治水対策の概念設計で、日本企業の受注を後押しする。タイ治水対策プロジェクトの予算は約7500億円。(2面)

太陽日酸、韓国でガス分離装置
プラント心臓部 / 熟練工を派遣

太陽日酸は、韓国で産業向けガスプラントの心臓部であるガス分離装置の組み立てを年内にも始める。アルミニウム溶接は日本から熟練工を派遣。円高による採算性の悪化を防ぐ。(13面)

TELOP

マレーシアで省エネ診断
アズビル(2日7面)

マレーシアの2社、連結子会社化
東芝エレベータ(3日10面)

シンガポールに販売拠点
ディスコ / 切断・研削装置(3日10面)

インドネシアで住宅ローン
SBI、現地社と合併(3日17面)

三井住友海上、インド生保に出資
約391億円(3日17面)

OKI、インドネシアに事務所
ドイツにも(4日8面)

TELOP

スズキ、大型2輪を投入
GSX1300Rハバブサなど(2日6面)

大連に特殊鋼鋼材加工拠点
岡谷鋼機(2日7面)

東レエンジ、現法の機能拡充
化学・液晶分野に照準(3日8面)

住友鉱山、上海に販売子会社
電子材料 / 中国を統括(3日12面)

常州市で熱処理加工
東洋金属熱線工業所(3日21面)

中国出張ビジネス会話のアプリ
アジア国際サービス(3日21面)

化粧板原紙、年3万5000ト
王子製紙(4日10面)

ワコール、新ブランド
20 30歳 / 北京に専門店(4日13面)

重慶電装・昆山肇誠電器を統合
デンソー、合併に転換(5日5面)

菱商、成都に工作機械の営業拠点
金型メーカーの進出増加(5日6面)

CO2排出取引の制度設計を支援
三菱東京UFJ銀行 / 湖北省(5日17面)

スマートコミュニティに協力
東芝 / 遼寧省錦州市(6日8面)

栗田工業、水処理装置を増員
現地対応能力を強化(6日11面)

上海のコンサル企業と業務提携
東海東京証券(6日17面)

みずほコーポ銀、合肥市に支店
内陸への産業移転進む(6日17面)

東工大で研究室体験
中国・清華大 / 韓国科技院(6日21面)

手提げ袋・封筒を一貫生産
ムトウユニパック(10日19面)

配電盤向け消火システム共同開発
ワイビーステム(10日25面)

上期の輸出入、伸び鈍化
年間目標10%を下回る(時事=11日2面)

中国企業73社、日本抜き2位
世界企業500社番付(時事=11日3面)

大手商社、不動産開発に参画
相次ぎ大規模住宅(11日3面)

ホンダ、合併の第二工場稼働
年産24万台規模(11日5面)

リチウム電池フィルムの加工拠点
昭和電工パッケージング(11日11面)

日立、大連で省エネ協力
モデル事業選定(12日8面)

ICT産業応用で実験室
富士通 / 広東省の現法内(12日9面)

中国人向けの東北旅行
ANA・JTR東日本(12日14面)

ジャボニカ米、中国で生産拡大
シェア32%に急拡大(13日3面)

日本留学ガイド、中国で発行
上海・復旦大学出版社(13日23面)

ひと
過去の技術



「日本の研究者にも刺激になる。いずれは中国発の新製品も販売したい」とTHK社長の寺町彰博さん。海外初の研究

開発拠点を中国に設置した。技術流出リスクはあるが、「優れたノウハウもいずれ陳腐化する。まねされとしても過去の技術」と心配しない。(3日=9面)

日本価格が通用する



「中国の電機や自動車関連に採用され始めた」と笑顔を見せるのは、MICS化学社長の林隆司さん。多層チューブフィルムの受注が好調だ。特殊フィルムのため日本価格が通用する。強さ以外にも柔らかさが評価され、高機能品向けの引き合いも多い。(3日=12面)

100万台でも足りない



安川電機は、上海工場のインバーター生産能力を、現在の年60万台から100万台に増強する。社長の津田純嗣さんは「年率30%の伸びを考えたら、100万台でも足りない」と笑う。「円高とデフレがベアの今、需要地コストで生産せざるをえない」と渋い顔。(4日=7面)

態勢整う



「山東省東営市に働かせて実現した『第一日本工業団地』で、『東営市名誉市民』をいただいた」と、大阪ウエルディング工業社長の魚谷禮保さん。同社はじめ多数の日本の中小製造業が進出する。魚谷さんがかけあい、入居費や税、進出手続きで優遇された。(11日=22面)

ASIA

7月2日(月)

アジア鉄鋼需給、7 9月緩和
鉄連会長 / 中国など供給過多

日本鉄鋼連盟の友野宏会長は、アジア鉄鋼需給の緩和について「4 6月よりも7 9月の方が緩和する」と定例会見で、中国などの生産能力の増加が需要の伸びを追い越している。(10面)

7月3日(火)

商工中金、タイに進出
中小の外需開拓後押し

商工中金は、タイに進出する。パangkok事務所を9月開設。取引先の海外ビジネスを金融・情報面で支援。中小の外需開拓を後押し。取引先企業の海外事業融資は100億円を年内に突破。(1面)

三菱重工、シンガポール新会社
環境・化学プラント・原動機

三菱重工業は、グローバル事業の強化でシンガポールに新会社を10月設立。環境・化学プラント事業や原動機事業を展開する三つの現地法人を合併させる。グローバル事業の中核拠点に。(3面)

豊和繊維、インドネシア新工場
内装部品 / トヨタ・日産向け

豊和繊維工業は、インドネシアとメキシコに内装部品工場を新設する。トヨタ自動車や日産自動車など日系メーカーへ内装部品の現地供給体制。インドネシアは2013年秋をめどに稼働。(5面)

NTTデータ、アジア再編
シンガポールで11社を統括

NTTデータは、アジア・太平洋地域のグループ会社を統括・再編する。シンガポールで11社を統括する。ブランドロゴも世界で統一したデザイン。売上高約35億円、従業員約800人。(11面)

7月4日(水)

アジアで顧客情報DB
富士ゼロックス / 海外営業を支援

富士ゼロックスは、日本とアジア12カ国を対象に、顧客企業が拠点別に使用する事務機器の情報を一元管理するDBを構築した。海外営業を支援するのが狙い。(1面)

シンガポールで水処理技術開発
三菱重工 / 設計から運転まで

三菱重工業は、シンガポール公益事業

庁と水処理・再利用技術の開発で協力する。ジュロン工業地区の工業排水処理と水再生利用の実証試験。設計・製作・調達から据え付け、運転まで。(3面)

ルノー、LGから調達
EV電池 / 日産から転換

フランス紙リベラシオンは、ルノーがパリ郊外フランの工場で計画する電気自動車用バッテリー生産について、連合を組む日産自動車ではなく韓国のLGが担当すると報じた。(時事=5面)

韓国の下水処理施設に採用
膜モジュール7000本 / 旭化成ケミ

旭化成ケミカルズは、韓国・坡州市の大型下水処理施設に水処理用濾過膜が採用された。日量9万立方メートル、膜モジュール約7000本を納入する。アジアを中心に世界市場で拡販する。(10面)

7月5日(木)

小出製作所、インドで金型生産
エンジン・変速機部品 / 日系向け

小出製作所は、インド北西部のラジャスタン州にアルミダイカスト用金型の工場を2013年秋に稼働する。主に中・小型車のエンジンや変速機部品を生産する日系メーカーへ供給する。(5面)

不二越、インドに軸受工場
月産100万個

不二越は、インドに生産子会社「ナチ・K.G.テクノロジーズ・インド」を設立し、月産100万個の軸受工場を建設する。現地の軸受商社・KGIインターナショナルとの合併企業。(6面)

7月6日(金)

CAC、東南アで買収検討
シンガポール・タイのIT企業

シーエーシーは、東南アジアの現地IT企業の買収を検討。拠点開設より、現地IT企業を買収したほうが費用対効果が大きいと判断。シンガポールやタイ、マレーシアで調査。(9面)

味の素の販路を活用
J オイル / インド・インドネシア

J オイルミルズは、海外油脂事業で重点地域とする4カ国のうち、インド、インドネシアで、現地企業との提携やグループ会社である味の素の販路を活用する検討に入った。(13面)

7月10日(火)

ミャンマー、進まぬインフラ
工業用地が不足 / 開発で火花

ミャンマーは、製造業の進出先として注目。しかし、インフラ整備が進んでお

らず、進出を断念する例も少なくない。中でも圧倒的に不足する工業用地をめぐる開発競争が激化。(深層断面=28面)

ミャンマーに経営教室
JICA / 現地の社会人向け

国際協力機構は、ミャンマーに現地ビジネスマン向け語学・文化教室を2013年3月に開設する。夜間や週末に日本語と日本式経営管理などを教え、日本企業で活躍できる人材を育成する。(3面)

三明機工、タイで4ライン受注
ダイカスト部品製造向け自動化設備

三明機工は、ホンダ、リョービ、ジャトコの子現地法人から、アルミニウムダイカスト部品製造向け自動化設備を合わせて4ライン受注した。受注額は総額2億円強。(7面)

出光、台湾に合併工場
おむつ接着剤 / 年産5倍5万ト

出光興産は、台湾・雲林県に合併会社を設立し、水添石油樹脂の生産を2014年度に始める。樹脂は紙おむつの製造に使う接着剤の粘着付与剤として使われる。年産5倍の5万トに拡大。(11面)

7月11日(水)

日揮、レアメタル回収
台湾に合併プラント

日揮は、使用済みの石油精製触媒からレアメタル回収事業に参入する。触媒からモリブデンなどを抽出するプラントの運転を台湾で現地企業と9月に始める。石油精製用触媒として再利用。(1面)

ダイハツ、海外で調達改革
インドネシアでの新型車に導入

ダイハツ工業は、調達窓口のオープン化や部品コスト3割減などを柱に国内で実施した調達改革を、海外で応用展開する。成果はまず、インドネシアでの新型車に導入する。(1面)

韓国ウジン、日系開拓
射出成形機 / 保守・修理整備

韓国ウジンプライムは、日本企業への射出成形機販売を拡大する。4月開設の日本支社が8月末に国内で販売代理店や保守・修理などのアフターサービス会社と提携、営業網を整える。(5面)

東南アで飲料を受託製造
ジャパンフーズ

ジャパンフーズは、海外の飲料の受託製造を本格展開。中国を皮切りにタイ、ベトナム、インドネシアなど東南アジアに。容器メーカー、総合商社、現地企業などと提携し展開する。(15面)

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の次回は30日(月)に掲載します。

シャープ、鴻海に譲渡完了
堺工場(13日9面)

ベトナムで産廃処理事業化調査
ツネイシカムテックス(13日15面)

北九州 韓国・釜山便を就航
スターフライヤー(13日17面)

ユニーク商品売り込み 韓国農業
ミツバチの毒から化粧品(13日28面)

ひと
「100%復興」宣言



洪水被害から国を挙げでの復旧が進むタイ。「今は70%の企業が元通りの生産を始めた。重要な自動車産業は100%復興した」と目を細めるのはタイ工業相のポンサワット・サワディワットさん。

「タイはアジアの生産のハブ拠点になれる」と力説する。(4日=5面)

地図が手放せない



「内視鏡をアジアで拡販するには、現地のドクターを増やさなければならぬ」と語るのは、オリンパス社長の笹垣さん。そのため内視鏡医を育成する施設の開設を急いでいる。アジアだけで33カ所の施設を開設する予定。アジアの地図が手放せない様子だ。(4日=10面)

強力タッグで世界を席巻



「日本の家電業界が敗北した理由は、新興国市場の急拡大や技術のデジタル化」と分析するシャープ相談役の町田勝彦さん。台湾・鴻海精密工業との資本提携は「新たな垂直統合」。強力タッグで世界を席巻する日は近い?。(11日=9面)

日本のビールがカッコイイ



「韓国経済は元気を取り戻している」と視察の感想を述べるキリンビール社長の磯崎功典さん。「飲み方も元気がいい」。福岡工場から韓国に輸出を始めた。「韓国では今、日本のビールが人気だ。若い人にはかっこよく映るのかもしれない」と分析する。(12日=14面)